

## バルカーテクノロジーニュース 冬号発刊にあたって



2026年の新春にあたり、皆さまの日頃のご厚情に心より御礼申し上げますとともに、Valqua Technology Newsをご愛読いただき、深く感謝致します。

Valqua Technology Newsは、本号にて50号の節目を迎える運びとなりました。前身である『バルカーレビュー』は昭和32年の創刊以来44年間にわたり488号を、そしてValqua Technology Newsは25年間で50号を発行してまいりました。長年にわたり刊行を続けることが出来たのは、ひとえに皆さまのご支援の賜物であり、ここに深く感謝申し上げます。当社は2027年に創業100周年を迎えます。昨年度より新たに推進しているWell-Being経営のもと、今後も継続的に、当社の技術、製品を分かりやすくお伝えする情報発信媒体として刊行を重ねてまいります。

2025年は、世界情勢の不透明感が一段と強まり、国際秩序の揺らぎや地政学的リスクの高止まりが顕著となりました。同時に、AIを中心とした技術革新はかつてない速度で進展し、生成AIやグリーンエネルギーなど、これまでの研究成果が実用化に向けて加速化している時代を迎えています。こうした「予測困難な世界」と「技術革新の加速」が同時に進む時代だからこそ、当社は改めて、長年培ってきた基盤技術・要素技術を大切にしたいと考えています。その強みを更に拡張し、未来に向けた価値創造に繋げる施策の一つとして、昨年8月にはプラント施工ソリューションを有するトルクシステム株式会社と経営統合を行いました。バルカーのシールエンジニアリングと、同社のフランジ締結・ボルディング技術が融合することで、本質的で実効性のあるソリューションを提供出来ると確信しています。

本号のTechnology Newsでは、当社が保有する技術をベースに、デジタル及びグリーンエネルギーといった社会課題や多様な市場ニーズに応える技術、商材の一端を、ハード(H)とサービス(S)の両面においてご紹介しています。サービス面では、前述のトルクシステムの技術紹介に加え、2023年に上市したクラウド上で設備管理サービスMONiPLAT(モニプラット)の拡充である、巡回点検ゼロサービスZeroVisitを取り上げます。ハード面では、水素用途向けに耐ブリストアー性を高めたBLISTANCE-HLTの適用拡大、半導体分野で求められる耐熱性黒色タイプのフローリッツFL、フランジのうねり面に追従する高圧縮シートガasket No.7027のラインアップ追加、顧客フランジに傷があってもシール性を保持するリングジョイント軟質カバーなど、4種類の製品をご紹介しています。また、技術論文として樹脂架橋技術を応用したサーマルインターフェース材料への適用検討についても述べています。

市場や技術が変遷するなか、当社では新たなデジタルソリューションやサービス商材、基盤技術を応用した研究開発に取り組んでまいりました。一方で、脈々と受け継がれてきたシール設計技術、材料加工技術等の基盤技術を更に深化させていくことも当社が担うべき変わらぬ使命であり、これからも、独創的技術に拘った研究開発活動を実行してまいります。

今後ともValqua Technology Newsをご愛読賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

技術総合研究所長 能勢 正章